

KS-24-12（新青丸）共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-24-12 次研究航海
- * 航海名称 (和文) 房総半島九十九里浜沖浅海底メタン湧出帯の大気・海洋影響探査
(英文) Atmospheric and Oceanic Impact Survey of Shallow Bottom Methane Venting Zone off Kujukurihama, Boso Peninsula
- * 観測海域 (和文) 房総半島九十九里浜沖
(英文) Off Kujukurihama, Boso Peninsula
- * 航海期間 令和 6年 7月10日(水)～令和 6年 7月14日(日)
- * 出港日時・場所 7月10日14時 横須賀港
- * 入港日時・場所 7月14日10時 横須賀港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 南関東ガス田を起源とするメタンの自然湧出の空間分布把握
メタンと共に放出されるヨウ素化合物の形態と空間分布把握
メタンの大気放出フラックスの把握
海洋表層に存在するヨウ素化合物による大気中オゾンの消失過程の解明
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス, ◎は@を示す)
岩本 洋子・広島大学大学院統合生命科学研究科・准教授
・y-iwamoto@hiroshima-u.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス, ◎は@を示す), 観測項目
 1. CTD 観測および採水, 岩本 洋子(y-iwamoto@hiroshima-u.ac.jp), クロロフィル a・栄養塩・メタン・無機態ヨウ素・揮発性有機化合物・微生物
 2. アシユラ採泥器およびオケアングラブ採泥器による採泥, 角皆 潤(urumu@nagoya-u.ac.jp), 間隙水中の化学成分
 3. マルチビーム音響測深機および三次元流向流速計によるメタンバブル探査, 角皆 潤(urumu@nagoya-u.ac.jp)
 4. 計量魚群探知機によるメタンバブル探索, 角皆 潤(urumu@nagoya-u.ac.jp)

5. 連続モニタリング計測器による大気微量成分の連続観測, 岩本 洋子 (y-iwamoto@hiroshima-u.ac.jp), オゾン濃度

6. 渦相関フラックス計測システムによる大気海洋間メタンフラックス観測, 近藤 文義 (f-kondo@jaca.ac.jp), 風速風向・気温・水蒸気量・大気と海水中二酸化炭素濃度・大気と海水中メタン濃度

7. レーダー波浪計による波浪観測, 小松 幸生 (kosei@aori.u-tokyo.ac.jp), 波浪2次元エネルギースペクトル, 波浪2次元エネルギースペクトル

8. GNSS 水蒸気センサ、マイクロ波放射計による洋上水蒸気観測, 吉田 聡 (yoshida.akira.4z@kyoto-u.ac.jp), 可降水量, 水蒸気鉛直プロファイル

* 乗船研究者氏名・所属・職名

岩本 洋子・広島大学 大学院統合生命科学研究科・准教授

Tang Techngong・広島大学 大学院統合生命科学研究科・大学院生

名塚 優希・広島大学 大学院統合生命科学研究科・大学院生

角皆 潤・名古屋大学 大学院環境学研究科・教授

伊藤 昌稚・名古屋大学 大学院環境学研究科・助教

高田 孝太郎・名古屋大学 大学院環境学研究科・大学院生

天木 智尋・名古屋大学 大学院環境学研究科・大学院生

北村 悠・名古屋大学 理学部・学部学生

近藤 文義・海上保安大学校・准教授

出口 将斗・北海道大学 大学院水産科学院・大学院生

横川 太一・海洋研究開発機構 超先鋭研究開発プログラム・副主任研究員

押谷 俊吾・マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

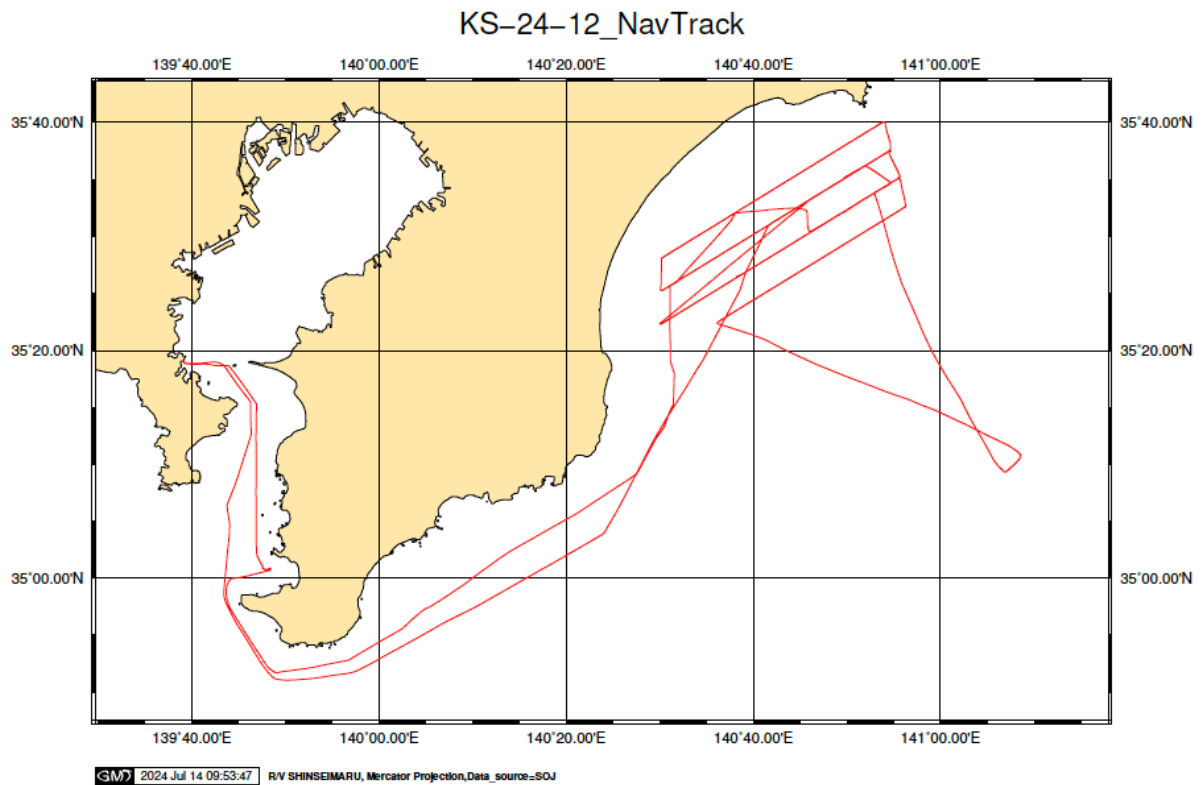


図1. KS-24-12 航跡図

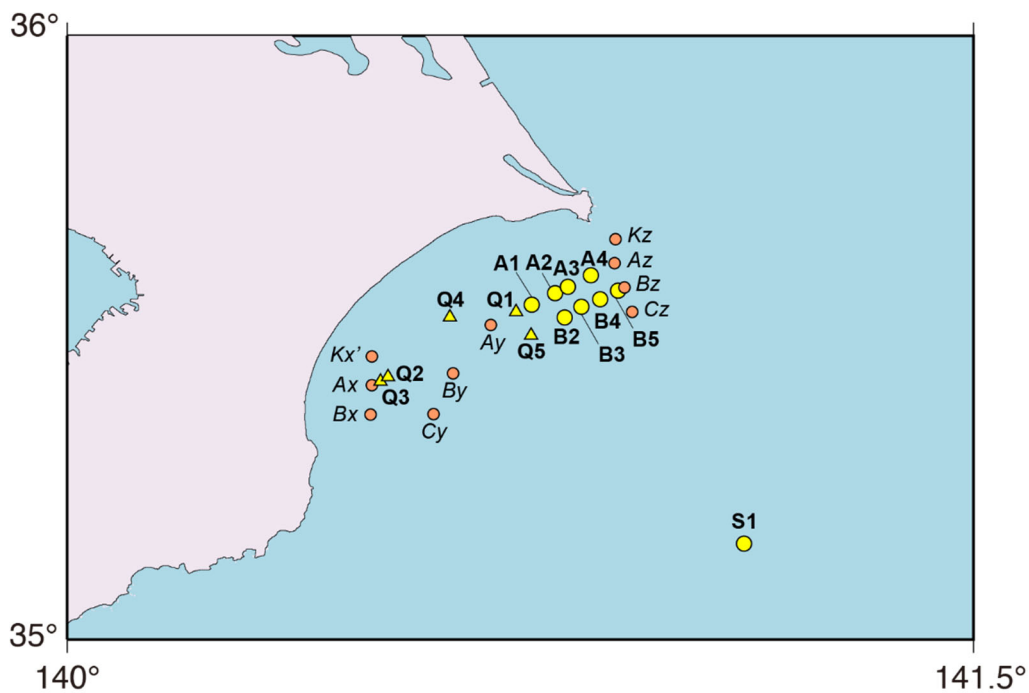


図2. KS-24-12 測点図 黄色丸印および黄色三角印は測点、橙色丸印は測線の起点・終点を示す。黄色三角印の測点 (Q1-Q5) は測線に沿ったメタンバブル探査の結果を元に決定した。